

令和7年度 社会教育実践研修 報告書

1 実施日 第1回 令和7年 7月10日(木)、第2回 令和7年 8月29日(金)
第3回 令和7年 9月10日(水)、第4回 令和7年10月17日(金)
第5回 令和7年11月27日(木) 各回13:30~16:00

2 会場 群馬県生涯学習センター 多目的ホール、第1研修室

3 内容

全体テーマ：「共生社会を具現化した『つどいの場 “t s u d o u n”』をつくろう！」

(1) 第1回 テーマ「共生社会を具現化した事例を聞こう」

事例発表：障がいのある人もない人も共に学ぶミンナシテマザール（障害者の生涯学習）

発表者：仙台市教育委員会生涯学習支援センター 主査兼社会教育主事 橋本 憲司 氏

事例発表：ともくらでの実践について

（外国にルーツのある方たちによる外国にルーツのある方への支援）

発表者：特定非営利活動法人共に暮らす 代表理事 アジズ アフメッド 氏

事例発表：共生社会を目指して～SONATARUEのを目指す形～

（0歳から100歳、認知症でも障がいがあっても地域で支える仕組みづくり）

発表者：社会福祉法人久仁会SONATARUE 統轄管理者 田辺 祐己 氏

演習：包括的で持続可能な居場所づくりについてのテーマトーク

講師：群馬県生涯学習センター 社会教育主事

(2) 第2回 テーマ「包摂的かつ持続可能な事業を考えよう」

トーク：包摂的で持続可能な事業について

登壇者：DET群馬 代表 飯島 邦敏 氏

特定非営利活動法人共に暮らす 代表理事 アジズ アフメッド 氏

特定非営利活動法人共に暮らす 理事 ムロオリバリ ブルネラ 氏

群馬県生涯学習センター ハートフルスクールサポートステーションスタッフ

演習：所属事業の見直し

講師：群馬県生涯学習センター 社会教育主事

(3) 第3回 テーマ「共生社会を具現化した『つどいの場 “t s u d o u n”』の事業をつくろう！」

演習：インクルーシブプログラムの体験（音楽活動、モルック）

講師：こども応援 音楽ユニット「こども魂」3名

群馬県生涯学習センター ハートフルスクールサポートステーションスタッフ

ゲスト：前橋市在住の外国人の方2名

演習：t s u d o u n年間計画づくり

講師：群馬県生涯学習センター 社会教育主事

(4) 第4回 テーマ「共生社会を具現化した『つどいの場 “t u s d o u n”』のイベントを開催しよう①
(つながりをつくるイベント)

演習：モルックイベントの運営体験

講師：群馬県生涯学習センター 社会教育主事

ゲスト：前橋市在住の外国人の方2名

群馬県立聾学校生徒3名、手話通訳者2名

群馬県総合教育センター ハートフルスクールサポートステーションスタッフ

(5) 第5回 テーマ「共生社会を具現化した『つどいの場 “t u s d o u n”』のイベントを開催しよう②
(学びにつなげるイベント)

演習：会話型交流のイベント体験（トークフォーカンス型、ワールドカフェ型）

講師：群馬県生涯学習センター 社会教育主事

ゲスト：DET群馬 代表 飯島 邦敏 氏

DET群馬 久保田 真由美 氏

特定非営利活動法人共に暮らす 代表理事 アジズ アフメッド 氏

前橋市在住の外国人の方2名

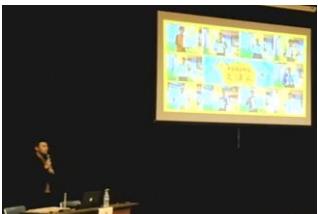
群馬県総合教育センター ハートフルスクールサポートステーションスタッフ

4 講義の様子

全5回参集で実施した。多様な講師とゲストの協力により、社会的包摶、共生社会の実現へ向けて、気づきや学びの多い実践的な研修となった。



第1回 橋本氏による発表



第1回 アジズ氏による発表



第1回 田辺氏による発表



第1回 テーマトーク



第2回 トークセッション



第2回 事業の見直し



第3回 プログラム体験



第3回 年間計画づくり



第4回 モルックイベント



第4回 ゲストからフィードバック



第5回 トークフォーカダンス型交流



第5回 ワールドカフェ型交流

5 受講者の感想

- 第1回 ○毎回毎回新しい発見を得られるので、たくさんの研修の機会をいただけて嬉しいです。
○私の町にはまだないことばかりなので持ち帰って参考にしたいです。
▲一つ一つの事例についても、事例後に感想を共有できると質問もしやすかったかなと思いました。
- 第2回 ○今まで、イベント等を実施する際に、全く想えていなかった視点での考え方でした。
○町では、障がい者を対象にした教室はありますが、外国人を対象にした教室は全然実施されていないので、実施するはじめの一歩の学びをたくさんいただけました。
▲グループ内の発言機会を少しでも多くするため、班のファシリテートは、研修参加者がやっても良かったかなと思いました。
- 第3回 ○t s u d o u nの事業として考えたことは実践形式として取り組みやすいと思います。実際の事業につながればと思いました。
○初対面の人たちとも楽しめるモルックすごいなと思いました。ウクライナの方とお話しをできる機会をいただきありがとうございます。体験を通して参加者同士の距離が縮まって行くのを感じました。
- 第4回 ○様々な立場の皆さんにご参加いただき実りの多い研修になりました。実践で活かして行きたいと思います。素敵なお機会をありがとうございました。
○参加者からのフィードバックが、大変有効だと感じました。アンケートの大切さを改めて感じました。
○障害がある方や外国にルーツをもつ皆さんと一緒に活動をする機会はほとんどなかったので、とても良い経験になりました。また、当事者の方々がどう感じているかを知ることもできたので、村の事業に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 第5回 ○全回とても充実した内容で企画運営していただき、本当にありがとうございました。新しい人との出会いや仕事での発見に感謝します。
○参加させていただき本当にありがとうございました。人と関わることが苦手な私にとって、関わりの必要性を考えさせる有意義な研修でした。
○昔のような地域の強固なネットワークも必要かもしれません、違う生き方をしてきた人と関わることの必要性を感じた所でした。貴重な機会をいただきありがとうございました。
○大変学びの多い研修に参加させていただき感謝しております。現場でも活かして行けるように頑張ります。